

中田市長殿

2007年12月13日
ネットワーク横浜
神奈川ネットワーク運動
杉山典子
宇都宮充子
荻野慶子
若林智子

公開質問状

市長におかれましては、昨今スキャンダラスな週刊誌報道がなされ、市長個人にとどまらず、横浜市の品格が損なわれかねない事態であると同時に、様々に、市長の公私の認識も問われる事件が続いていることを危惧しております。

11月30日の本会議において、新聞報道を受け、看護学校での中国語学習が公務だったのかどうかについて、答弁されています。しかし、市長が、看護学校で他の生徒と机を並べて授業を受けることにした理由については、理解に苦しむところです。プライバシーや、警備の問題ならば、個人レッスンが最も望ましく、多くのサラリーマンは、仕事の合間をぬって個人レッスンに通い、必要な語学を学んでいます。信頼できる有能な教師を、市役所や、公舎へ呼ぶことも可能と思います。市長は、答弁の中で、いろいろ勘案した結果、看護学校を選んだと述べていますが、

①なぜ個人レッスンではなく、中国語を教えることを目的としていない看護学校をわざわざ選ばれたのか、その理由を市民の納得がいくようにお示してください。

また、週刊誌の「合コン疑惑」報道を受け、多感な年頃の子どもを気遣うコメントを出されていた市長が、サンディエゴ訪問を突然中止し、いわゆるキャバクラで遊興されたなどという報道もされました。週刊誌報道により、市長の身辺が騒がしい折にそのような行動をされたことは、市長の危機管理意識が問われると同時に、女性市民の感情を逆なでしました。サンディエゴ訪問については、12月12日、本会議で、従来通り「式典の開催は不可能」であったという前提で答弁をされています。しかし、原文を見た限り、私どもは、予定通り開催されるという趣旨と、読み取っています。

②この一件につきましても、あらためて事実関係を明らかにしてください。何よりも、国際親善に向けて、最善をつくしたのかどうか問われるところですが、見解をお示してください。

さらに、2005年4月の中田市長の政治資金パーティの代金が、消防団の活動奨励金の含まれている口座から支出されていたことが発覚しました。この件については、安全管理局長が、市の消防署員が関わっている可能性のあることを認め、謝罪を行っています。

③12月7日の本会議では、市長は「調査する」と答弁するにとどまりました。しかし、市長の責任として、公金がパーティ券の購入に使われたことが明らかである以上、当然返還すべきと考えますが、見解を明らかにしてください。